

平成 28 年度 交通安全教育指導者研修会

参加報告書

昨年度、OSCNは実践発表の機会を頂きました。今年度の研修会では、さまざまな地域の関係者からOSCNの昨年度の発表にヒントを得て、交通安全教育に生かすことができた、という嬉しい声も頂戴しました。

期 日 : 2017 年 1 月 30 日 (月) ~ 31 日 (火)
 会 場 : 国立オリンピック記念青少年総合センター (東京 代々木)
 参加者数 : 103 名 (交通指導員・行政・警察・自動車教習所・NPO)
 主 催 : (一財) 日本交通安全教育普及協会
 後 援 : 内閣府
 OSCNからの参加 : 片山昇 ・ 寺尾正継

参加レポート 文：寺尾正継

■講義と実践発表

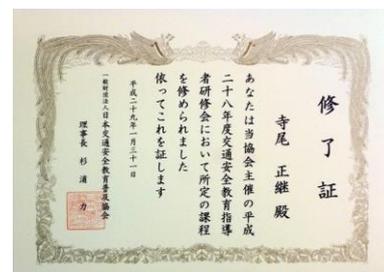
講義は三つ。それぞれ興味深い内容でした。

一つ目は、子供の交通教育の現場において、子どもたちを話に引き込むための工夫。

巧みな話術、手品等、見応えがありました。

二つ目は、視力の衰えや病気、見えている様で実際には、見えていない視野の話。

三つ目は、コーチングメソッドによる交通安全教育。ドライバーのための交通安全再教育の方法。企業のドライバー等に指導を行っているということでした。



交通安全の指導、活動をしている団体の実践発表も三つありました。

一つ目は、AIを使った新しい危険予測コンピューターシミュレーションプログラムの開発と、それらを使った高齢者への指導方法の発表、展示。また、反射材や蛍光色を使った工事作業員用、子ども用の安全ベストの提案、展示。(シミュレーションを体験しました。ゲーム感覚で楽しめます)

二つ目は、子どもに対する安全教育指導の発表 (女性指導員達による実演)。

三つ目は、高齢者に対する交通安全指導の発表 (コント形式)。

児童にも、高齢者にも、「笑い」は興味を集中・持続させる為の共通した要素なのですね。



最後は、班別協議。全国各地から集まった交通指導員、警察官、市職員等の参加者がそれぞれのテーマに沿って話し合いをします。



■再認識したこと

- 自分の視野の狭さを改めて認識

視野は広い様だが、実際に脳が認識している範囲は、極狭いポイントだけ。

常に広い範囲に気を配らなければいけない。それがわかっているつもりでも、

意外に、できていなかった。

- ・ 危険予測

これはある程度、自身の経験の積み重ねが必要で、教えられるだけではなかなか身に付かないのかも知れない。しかし、重大事故を起こして、気がつくようでは遅い。子どもの頃に様々な体験をする事が大切なのかも。



- ・ 感情的にならない事

イライラは大敵。常に冷静にしていなければ。

マナーの悪い自転車、オートバイ、車や歩行者と遭遇しても、腹を立ててはいけない。

危ないなあ！ と思いつつも、さらっと受け流す事ができるか。

自転車乗りにしてもドライバーにしても、各々が「事故を起こし、加害者となる可能性がある」という認識を高める事が必要でしょう。自分は大丈夫、という勝手な思い込みを改め、自覚的であるべき。加害者となった場合を想像してみたら……。恐ろしい事です！

別れ際の挨拶で「事故に遭わないように、くれぐれも気をつけて。」と言うことがありますが、

「事故に遭う」＝「もらい事故」という受動的なイメージがありますね。

本来は、「事故を起こさないように、気をつけて」と言うべきなのかもしれません。

■ 子ども用ベストをきっかけに考えたこと



反射材と蛍光色による子ども用ベスト（高視認性安全服）は、夜間・夕暮れ時はもちろん、昼間でも遠くから認識しやすく、ドライバーからの察知が早くなる。

10秒早く気がつけば、事故を防ぎ、5秒早ければ、大けがを防ぐ。0.5秒の差で、命の分かれ目となるかも知れない。その観点から、通学時に安全ベストを着させるのは事故防止の効果が高いと思われる。交通安全先進国のヨーロッパでは、実際に使用しているところもある。日本でも導入し始めているところもあるようです。

しかし、これを着ないと安全に通学できない環境とは、どのような交通社会なのだ……。と複雑な思いをいただきました。

ところが、研修終了翌日の新聞記事に —— 。

「島根県で、朝の集団登校する児童の列に、車が突っ込む事故が発生！」

二日間、全国から研修に集まった、交通安全指導員の皆さんの努力をあざ笑うかのような事故に、とてもやるせない気持ちになりました。

事故を起こしたドライバーは、飲酒運転。

こうなると、蛍光色ベストも反射材も、意味を成しません。

いつか、子どもたちに、モビルスーツを着せて登校させる日が来るのでしょうか。それは美しい光景なのでしょうか。

一般ドライバー（あるいは大人全般）にも効果的な再教育、コーチングメソッドの必要性を痛感しました。



以上

